

静岡)絵本で障害者権利条約知って 静岡の男性が挿絵

<http://apital.asahi.com/article/news/2015052800002.html>

2015年5月28日

障害者への差別禁止や権利保障をうたう国連の「障害者権利条約」がテーマの絵本が今月、出版された。挿絵を描いたのは静岡市葵区で障害福祉サービス事業所などを展開する社会福祉法人「ラルシュかなの家」職員里圭(さとけい)さん(37)＝本名・佐藤啓＝だ。願いを込めて、挿絵にはみんなが笑って暮らせる社会を描いた。



絵本のイラストを担当した里圭さん＝静岡市葵区
安倍口新田のラルシュかなの家の作業所

「パチパチ拍手」「ヒューヒュー口ぶえ」……。絵本は、障害者権利条約が2006年の国連総会で採択された場面から始まる。条約を擬人化した主人公が、子ども向けに条約を解説している。日本は条約を14年1月に批准。批准に向けて国内では、障害者差別解消法が13年6月に成立するなどしてきた。

美大卒の里圭さんが都内の障害者支援施設で働いていた時、日本障害者協議会代表・藤井克徳さん(65)に誘われ、得意の木版画で初めてとなる挿絵を描いた。一番力を入れたのは、条約が大切にされ、どんな障害者も気軽に外出できる社会を描いた絵だ。

(朝日新聞 2015年5月28日)